

令和 2 年度事業計画書

令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 3 1 日

公益的機能を持つ森林の維持管理や山村地域の振興に林業は重要な役割を果たしている。その担い手となる林業従事者の確保・育成が重要となるが、林業従事者数は減少傾向にある。そして本県の林業事業体の多くが人手不足の問題を抱えており、経営リスクにもなっている。

さて、当財団は、この人手不足問題を踏まえて、平成 3 0 年度から 3 年間の中期事業計画を作成して林業従事者の定着化を図るための助成事業を実施している。林業事業体が技能を持った人材を確保していくために働きやすく魅力のある職場環境を整備し、定着率の向上を目指すこととしている。

令和 2 年度は、中期事業計画の最終年度でもあり、これに沿って「人材育成」及び「労働安全」、「雇用改善」の視点で事業を行う計画である。事業予算は総額 44,500 千円で事業内容は次のとおりである。

1. 人材育成

(1) 担い手定着支援事業 (予算 3,500 千円)

林業事業体等が雇用している現場技能者の定着化を図るためキャリア形成のシステム構築やコミュニケーションの活性化による組織の意思疎通を図り働きやすい職場環境への改善に取り組むために必要な経費を助成する。

(2) 資格取得助成事業 (予算 2,600 千円)

林業事業体等が雇用する現場技術者に対し、木材生産等の林業に必要な資格を計画的に取得させる場合、その林業事業体等を対象に必要な経費を助成する。

(3) 林業架線技術者養成事業 (予算 1,500 千円)

県内の林業事業体等に雇用される現場技術者に対し、林業架線作業技術者の養成講習会等を開催する林業事業体等を対象に必要な経費を助成する。

2. 労働安全

労働安全管理事業 (予算 11,900 千円)

①労働安全研修 (予算 500 千円)

県内の林業事業体等に雇用される現場技術者に対し、労働災害の予防を目的とした現場作業を安全に遂行するための手順の習得や能力向上等の研修会を開催する林業事業体等を対象に必要な経費を助成する。

②労働安全巡回指導 (予算 400 千円)

県内の林業事業体を対象に労働安全衛生に関する巡回指導を実施するために必

要な経費を助成する。

③労働安全対策（予算 11,000 千円）

・安全装備品助成（予算 6,600 千円）

県内の林業事業体等に雇用される現場技術者に対し、労働災害の予防を目的とした林業労働のための安全装備品を支給する林業事業体等を対象に必要な経費を助成する。

・蜂アレルギー対策支援事業（予算 4,400 千円）

県内の林業事業体に雇用される現場技術者に対し、労働災害の予防を目的としたハチアレルギー対策（ハチ毒抗検査及びアナフィラキシー補助治療剤処方）に取り組む林業事業体等を対象に必要な経費を助成する。

3. 雇用改善

就労条件整備事業（予算 25,000 千円）

林業事業体等が雇用した現場技術者の就労条件の改善をめざし、社会保険や退職金共済等に加入した場合、その林業事業体等を対象に事業主負担相当額を助成する。